

【がんばる市内企業の事業活動や事業展開を紹介します】

(株)グロップ

～ビジネスにマックスなパワーを～

取引先企業の窓口として電話の受発信業務を行うに

弊社は昭和50年に設立された会社で、中・四国地方を中心に関東、関西地方で事業展開しています。業務内容はテレマーケティング、データエントリ、人材派遣・紹介など、お客様にさまざまなサービスを提供しています。平成22年4月現在で正社員は430人を数え、グループ全体の売上高は平成22年決算で約167億円となっています。

「我が社の基軸は人である。我が社はその基軸である人と共に成長し続ける」という企業理念の下、これからも地域、そこに住む人たちと共に成長し、まい進していきます。

平成19年12月、コールセンターの拠点として東大洲に「大洲センター」を開設しました。80席のブースを設け、365日、24時間体制でお客様をサポートしています。現在、大洲センターでは140人を雇用しています。現在も募集を行っています。

◇所在地 大洲市東大洲

◇電話 59-1215

<http://www.grop.co.jp>

がんばる大洲企業



野鳥



セッカ（雪加）
スズメ目ウグイス科
大きさ13cm

開けた農地や草原で生息する、小さなウグイスの仲間です。

地味な鳥ですが、高く舞い上がりながら「ヒッ、ヒッ、ヒッ」、降りる時には「チャッチャッ、チャッチャッ」と、よく通る声でさえずります。名前の由来は、チガヤの穂（白いので雪に見立て）をくわえ、飛びながら巣作りをする姿が見られることから付いたと言われています。しかし、その鳴き声は火打石をたたく音にも聞こえ、「石火」と呼ぶようになったような気がします。昔は自然界と生活が密着していて、ほんの小さな特徴で名前を付けていたようです。この広報が出る頃は、野鳥たちは子育ても終わり、親元を離れた雛たちは「命をつなぐ」という運命を背負って、自然の荒波に乗りだしていきませんが、人間社会ではいつまでも親のすねをかじり、立ちできない若者が多くなっているような気がします。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

文化財

ばんけいこくしちんぞう
盤珪国師頂相 7幅

大洲市有形文化財（絵画）
如法寺蔵（大洲市立博物館保管）



頂相とは、主に禅僧を描いた肖像画のことを言い、寛文9（1669）年、盤珪永球を創始者として開かれた如法寺には、盤珪国師のほか歴代住職の頂相が残されています。

中でも盤珪国師の頂相は7点と最も多く、そのすべての頂相は、曲^{まが}帚^{きり}と呼ばれる椅子に座り、柄先に獸毛を束ねた^{ほろ}子^すと呼ばれる法具を持ち、右斜向の構図で描かれています。

特に、大名画家として全国的に有名な3代藩主加藤泰恒^{かとうやすつね}が描いた頂相は、7点ある中でも多様な彩色で華麗に描かれており、他の頂相よりも存在感を感じさせるもので、藩主泰恒の盤珪国師への崇敬の高さが窺われ、貴重なものといえます。

（昭和年40年1月1日指定）

いんじちは市長です

「想定外」について



今回の東日本大震災ほど、「想定外」という言葉を聞く機会は、今までなかったように思います。例えば、家を作る場合を考えれば、屋根などの重さに耐えられるようにしなければいけませんし、台風などの大風にも耐えてもらわなければ困ります。しかし、屋根の重さや風の強さも、ある程度のところ割り切らないと木造での家はできなくなってしまう。今までに経験のないような大型の台風が襲ってきて屋根の瓦が飛んでしまった時には、「想定外だったね」とあきらめざるを得ないかもしれません。しかし、今回の津波による甚大な被害や、原子力発電所の事故による長期的で広い範囲の放射線被害を、想定外という言葉で片付けてよいは

ずはありません。家を考えても、台風で瓦が飛ぶことや雨漏りをするがあつても、家の中の住民に被害が及ぶことはあつてはならないものです。津波を防ぐ堤防だけでは完全に防ぎきれないまでも、被害を最小限にするための堤防の構造や、背後地の盛土の道路などを考えることが重要です。また、原子力発電所で事故が起きた場合にも、放射線が広がらないようにあらゆる対策を考えることは、決して怠つてならないものです。

人間の知恵では全てを計り知ることができないものではありませんが、知ろうとする努力や、もしもの場合を常に考えていく「心構えを忘れない」ということを、もう一度考えさせる大震災であつたと思います。

おおずの女性く輝いて今

第10期おおず女性塾開塾式

7月28日(木)、第10期おおず女性塾の開塾式と第1回講座が、旧図書館で開催されました。

「おおず女性塾」は、活力あふれるまちづくりを進めるための人材育成を図り、いきいきとした男女共同参画社会づくりを推進するために設置されているものです。

開塾式では清水市長から「おおず女性塾は、塾生同士で意見を交え、何をすべきか考えることができるいい機会。大洲の良さを再発見してもらいたい」とあいさつがあり、その後、大洲の観光と特産品を中心に市政についての講話がありました。

「男女共同参画の取り組み」と題した講座では、大洲市男女共同参画推進計画に基づく大洲市の取り組みの状況や、おおず女性塾の活動内容の紹介があり、塾生たちは熱心にメモを取りながら説明に耳を傾けていました。

第10期おおず女性塾の塾生は10人で、現在も塾生を募集していま

す。おおず女性塾では今後2年間、各種講座やフォーラムなどを通じて、男女共同参画への理解を深めていくこととしています。

おおず女性塾の活動に興味のある人は、左記までお気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

企画調整課男女共同参画係

☎2421111

(内線522・524)



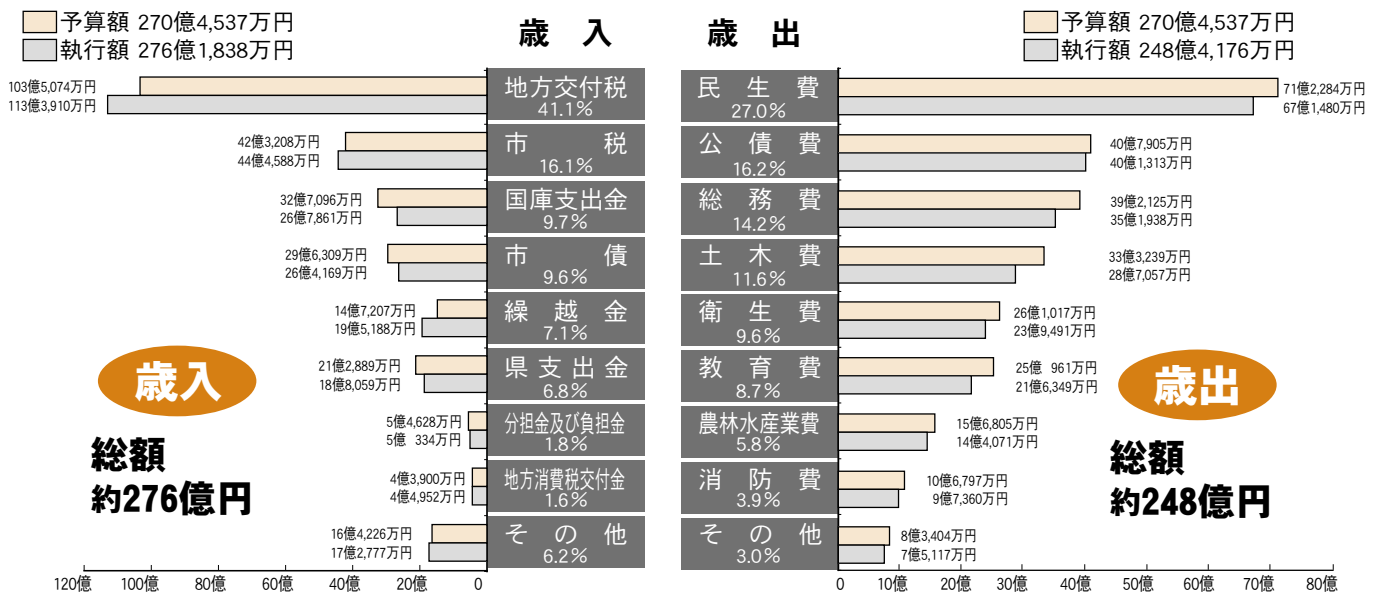
平成22年度

財政状況をお知らせします

大洲市財政状況の公表等に関する条例第2条および地方公営企業法第40条の2の規定により、平成22年4月1日から平成23年3月31日までの本市の財政状況および業務状況を次のとおり公表します。

一般会計予算執行状況

平成22年度の歳入・歳出の状況



用語解説

(上のグラフ) ↑

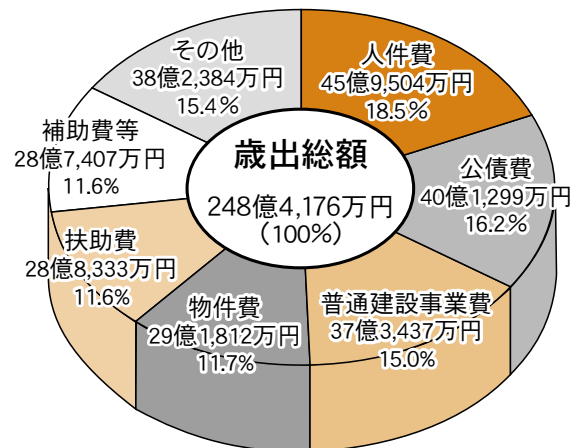
歳入	地方交付税	全国の市町村によって生じている税収入の格差を是正し、一定の行政水準を保つために国から交付されるお金。国税5税（所得税、酒税、法人税、消費税、たばこ税）が原資となっています。
	市 税	みなさんから市に納められたお金
	国庫支出金	道路や建物の整備などに必要なお金の一部として国から受け入れたお金
歳出	民生費	主に福祉の充実のために使ったお金
	公債費	市が借り入れた市債（借金）の返済に使ったお金
	総務費	市役所の管理、電算システム、戸籍、税などの事務に使ったお金

(右のグラフ) →

普通建設事業費	道路や公園などの公共施設を建設するために使ったお金
物件費	消耗品や旅費、公共施設の運営などに使ったお金
扶助費	子ども手当や乳児、重度心身障害者の医療費などに使ったお金
補助費等	様々な団体などへの補助金や消防などの事務を共同で処理するために設立された組合への負担金などに使ったお金

一般会計性質別執行状況

平成22年度のお金の使われ方



市有財産の状況

市が所有する土地・建物・預金など

種別	面積等
宅地	1,913,084㎡
山林	4,591,871㎡
田畑	179,259㎡
雑種地	104,697㎡
建物	379,173㎡
立木	97,020㎡

名称	金額
財政調整基金	12億1,427万円
減債基金	5億4,761万円
国民健康保険財政調整基金	1億5,217万円
土地開発基金	4億944万円
その他特定目的基金等	18億114万円
出資金等	3億2,332万円
合計	44億4,795万円

企業会計の状況

水道や病院の経営状況

区分	総収益	総費用	当期純利益
工業用水道	2,075万円	1,647万円	428万円
水道	7億3,091万円	7億4,164万円	△1,073万円
病院	32億7,058万円	33億3,644万円	△6,586万円

市税と市民負担の状況

項目	金額	1世帯当たりの負担額	1人当たりの負担額	割合
市民税	17億6,956万円	87,797円	36,752円	39.8%
固定資産税	22億7,622万円	112,936円	47,276円	51.2%
たばこ税	2億8,013万円	13,899円	5,818円	6.3%
軽自動車税	1億1,902万円	5,905円	2,472円	2.7%
入湯税	95万円	47円	20円	0.0%
合計	44億4,588万円	220,584円	92,338円	100.0%

市債の状況

市の借入金の残高

区分	件数	現在高	1世帯当たりの額	市民1人当たりの額
一般会計分	465	270億8,450万円	1,343,811円	562,526円
特別会計分	153	78億841万円	387,418円	162,175円
企業会計分	57	73億6,896万円	365,614円	153,048円
合計	675	422億6,187万円	2,096,843円	877,749円

特別会計の状況

国民健康保険	
予算現額	60億4,697万円
収入済額	60億9,932万円
支出済額	58億5,020万円
差引額	2億4,912万円

国保診療所	
予算現額	9,217万円
収入済額	8,501万円
支出済額	8,501万円
差引額	0万円

老人保健	
予算現額	381万円
収入済額	150万円
支出済額	129万円
差引額	21万円

後期高齢者医療	
予算現額	5億7,391万円
収入済額	5億4,437万円
支出済額	5億2,566万円
差引額	1,871万円

介護保険	
予算現額	42億6,609万円
収入済額	41億7,072万円
支出済額	41億4,565万円
差引額	2,507万円

簡易水道事業	
予算現額	4億7,371万円
収入済額	4億4,374万円
支出済額	4億2,794万円
差引額	1,580万円

港湾施設事業	
予算現額	1,724万円
収入済額	1,694万円
支出済額	1,694万円
差引額	0万円

土地取得造成	
予算現額	1億6,857万円
収入済額	1億6,791万円
支出済額	1億6,791万円
差引額	0万円

土地区画整理事業	
予算現額	5,876万円
収入済額	4,779万円
支出済額	4,779万円
差引額	0万円

住宅新築資金等貸付事業	
予算現額	1億7,430万円
収入済額	1,155万円
支出済額	1億7,380万円
差引額	△1億6,225万円

農業集落排水事業	
予算現額	2,842万円
収入済額	2,710万円
支出済額	2,710万円
差引額	0万円

公共下水道事業	
予算現額	6億3,545万円
収入済額	5億8,112万円
支出済額	5億8,112万円
差引額	0万円

駐車場事業	
予算現額	2,293万円
収入済額	2,081万円
支出済額	2,081万円
差引額	0万円

温泉事業	
予算現額	801万円
収入済額	740万円
支出済額	740万円
差引額	0万円

商業集積施設管理	
予算現額	318万円
収入済額	318万円
支出済額	301万円
差引額	17万円